

関ヶ谷市民の森愛護会

(平成 18 年度第 2 回役員会決定事項のお知らせ)

「3たい主義」

ひとつの現象をホップ、ステップ、ジャンプのように、3つの言葉で完結させる事例が世の中に意外と多い。“整理”“整頓”“清掃”も3Sと称し一世を風靡したが、後発の人は何とか独自性を出そうとこれに“清潔”“しつけ”と付け足して5Sにしたり、最後は7Sにまで増えていった。韓国の工場に行った時、「5Sの徹底」という標語が壁に貼ってあった。工場長が「日本の5Sとはちょっと違います。最後のSは日本と違って“しつけ”ではなく、“習慣”です」と相違点を力説していた。多ければいいというものではなく、やはり基本は3Sで実体が伴わなくては意味がない。私のやり方は、世の中でいわれている3文字言葉の中身を自己流に解釈し、座右の銘としている。1つしかない言葉も無理矢理3つにする等、やたらに3にこだわっている。

前置きが長くなったが、平成18年度の総会で活動報告に減り張りをつけようと「3たい主義」の話が披露したら連絡文に載せたいので書いてほしいとの依頼が宮本さんからあった。恥を忍んでの再登場である。

世の中に“3たい主義”を唱える人がいる。即ち、「やってみたい」「楽しみたい」「役に立ちたい」の3つである。言われてみれば、その通り。何事も「やる気」がなければ話しにならない。多くの企業で“動機づけ管理（モチベーション）”がもて囃され、色々の手法が誕生した。しかし「楽しみ」がなければ、長続きはしない。「役に立ちたい」はいつてみれば、自己暗示と受け止めていた。尤も、「やってみたい」「楽しみたい」だけでは座右の銘にはならない。ボランティア活動に参加して、この言葉の順序が違うのではないかと考えるようになった。本気でやるなら「やってみたい」「役に立ちたい」「楽しみたい」でなければ、すべて中途半端になってしまう。話し上手の人は、笑いを3回取るといわれている。学校の講義でも笑いのない授業は身に付かない。私も下手なりにここで3回目の笑いを取ることを計算していた。誰でも知っている“森田公一とトップギャラン”の「青春時代」。パワーポイントで「楽しみたい」の字幕を出し、アニメーション効果を利用して入れ替わりに「後からほのほの思うもの」を登場させたわけである。（鈴木 勲）

[I] 今後の活動予定

- 7月 8日(土) 自主活動日(世話人:澤)
16日(日) 公式活動日(作業内容:除草、炭焼施設等)
8月 12日(土) 自主活動日(世話人:加藤)
27日(日) 公式活動日(作業内容:除草、炭焼施設等)
9月 9日(土) 自主活動日(世話人:宮本)
24日(日) 公式活動日(作業内容:間伐、除草等)

(注) 自主活動日の世話人当番は、澤、加藤、宮本、齋藤、外山、池田、日高、鈴木、鹿谷、戸次、平野、真鍋、澤の順で回ります。

[II] 今後のパトロール予定

- | | | |
|----------|-------|-------|
| 7月 9日(日) | 戸次 鎮治 | 戸次 明子 |
| 16日(日) | 池田 陽一 | 松原 勉 |
| 23日(日) | 齋藤 和子 | 小倉 征子 |
| 30日(日) | 平野 利治 | 星野 洋 |
| 8月 6日(日) | 飯野 光吉 | 池田 陽一 |
| 13日(日) | 大木 通宏 | 加藤 文明 |
| 20日(日) | 小倉 征子 | 門田 教与 |
| 27日(日) | 古賀 卓郎 | 佐野 庄次 |
| 9月 3日(日) | 齋藤 和子 | 塩山 裕子 |
| 10日(日) | 澤 邦彦 | 鹿谷 元良 |
| 17日(日) | 篠原 英男 | 鈴木 勲 |
| 24日(日) | 惣谷 実 | 戸田 斎 |

(注) パトロール結果は、必ず、鹿谷副会長宛ご報告下さい。

電話かファックスによる場合: 電話番号

メールによる場合: アドレス

[III] クラブ活動等の状況

(1) 炭焼事業について

6月に予定していた、「炭焼き設備用の煙突」の取付け、「熱電対、発電機等」の設置等は順調に完了したものの、炭焼窯本体の完成には若干の遅れを生じており、7月23日開催の「山の手の夏祭り」への自家製竹炭の初出荷は見送らざるを得ない状況にある。遅くとも7月中には「火入れ式」を実施したい。

(2) ホタル復活クラブについて

釜利谷南小学校において、平成15年当時4年生だった学童が3年間に亘って続けて来たホタル復活活動は新6年生にバトンタッチされた。これに伴い、われわれ愛護会には、ホタル復活活動に新たに取り組もうとしている新6年生をサポートして行くことが期待されている。

その第一ステップとして、去る6月23日(金)、鈴木会長の依頼により、「横浜ホタルの会」の丸茂高会長からこれら新6年生に対し、氏の体験談を交えたホタルの生涯やその育成に関する有意義なご講和をしてもらった。新6年生は1時間にも及ぶこの講和を飽かず熱心に傾聴していた。

また、丸茂氏には、上記講演に先立ち「いこいの広場」周辺の環境をご視察いただいたが、そこでのサジェッションは、取敢えずは水源からいこいの広場に至る山裾沿いに手掘りの水路を新たに掘削して見てはどうか、そして、第二段階として既存の深い水路の山側コンクリート板の上段を外すなど幼虫がより上陸し易くするなど更なる改善を試みてはどうか、ということであった。ただ、現水路の山側コンクリート壁に貼り付けてある緑色のウルオンボードにはスキが多過ぎ幼虫には登り辛くむしろ有害ではないかとのご注意があった他、ホタルは苔に産卵するため水路の東側5m先にある関東学院側の苔に覆われた石垣が産卵場所になる可能性が高く幼虫にとって水路から隔たり過ぎるとのご指摘もあった。また、手掘りの水路を造るにせよ現水路を改良するにせよ、これら水路に「カワニナ」の育成を促すには間伐、枝打ち等により水路への日照を大幅に増やす必要があるとのご助言もあった。これらの問題については、今後順次実施に移して行くこととされた。

なお、過年度、横浜市から提案のあった「関ヶ谷小川アメニティー基本計画」(いこいの広場周辺に生物の拠点となるサンクチュアリー池を設置する構想)は、目下財政上の制約から先送りとなっているが、今年度以降実施に移される可能性もあるので、この件に関する市当局のご意向に留意し、担当者とのコンタクトは引き続き綿密に保つ必要がある。

(3) 園芸クラブについて

「いこいの広場の花壇」： 長い冬枯れを彩ってくれたパンジーを5月初旬に処分し、6月中旬にあらかじめ日高リーダーが土を鋤き新しい土を入れて下さっていた二つの花壇に、三種の花（マリーゴールド、セージ、サルヴィア）を植えた。2年間の経験をもとに配列のデザインを工夫し美しく魅力的な花壇の創出に成功した。

「山の手入り口の花壇」： 6月中旬にホリホック（タチアオイ）が多数成長し、背高く多彩な花が花壇を美しく飾ってくれた。また、春秋二度の種蒔きにより雑草のはびこっていた「山の手入り口」を美しい花の回廊に大変身させた。

[V] その他の連絡事項

（1） 山の手夏祭りへの出店

来る7月23日（日）に、山の手「柿の木公園」において開催される「山の手自治会」主催の夏祭りに、昨年同様、「コースター作り」ほか「竹炭等の販売」を出店することになりました。準備作業等は木工クラブが中心になって行いますが、会員有志の方は午前9時までに「柿の木公園」にご参集下さい。

（2） 7月の公式活動日の変更

7月の公式活動日は、本来第四日曜日の7月23日ですが、（1）の「山の手夏祭り」への出店行事と重なるので、一週間繰り上げて7月16日の第三日曜日とします。

（3） 次回定例役員会の開催日について

次回定例役員会は、9月2日（奇数月の第一土曜日）午後7時から、「山の手自治会館」において開催します。役員の方は万障お繰り合わせのうえご出席下さい。

関ヶ谷市民の森愛護会会長 鈴木 勲

（文責 総務担当 宮本 英利）